

美浜町学校再編住民説明会

令和5年6月

美浜町・美浜町教育委員会



学校再編の背景と計画

(1) 背景

- ①児童生徒数の年々の減少
- ②小学校4校が「1学年1学級(20名前後)」であり、今後更に学校の小規模化進むことが予想される。

(2) 計画

- ①令和4年度 河和小と河和南部小を統合
- ②令和10年度 小中一貫校開校

児童生徒数の推移

◎児童生徒数の年々の減少

令和5年5月1日現在

美浜町の小学校全体の児童数

令和5年度 919名 → 令和10年度 704名
(住民登録数からの予測)

美浜町の中学校全体の生徒数

令和5年度 483名 → 令和10年度 453名
(現小2～小4児童の合計)

小学校の児童数の推移 (全学年：35人学級)

	令和5年度	令和10年度							年長
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	
布土小	100	11	12	13	12	16	15	79	9
河和小	466	54	51	65	67	62	74	373	42
野間小	112	16	11	15	12	13	17	84	7
奥田小	126	12	12	16	17	14	22	93	6
上野間小	115	9	9	12	14	18	13	75	8
合計	919	102	95	121	122	123	141	704	72
学級数		3	3	4	4	4	5	23	3

令和5年5月1日現在

中学校の生徒数の推移 (中1 : 35人学級 中2・3 : 40人学級)

	令和5年度	令和10年度				
		1年	2年	3年	特支	合計
河和中	279	76	83	103	21	283
野間中	204	49	44	58	19	170
合計	483	125	127	161	40	453
学級数		4	4	5		13+ α

令和5年5月1日現在

学校再編の基本コンセプト その1

「子どもたちにとってより良い教育環境」を目指し、
学校と地域の活性化を推進します。

(1) 活力ある学校づくり

一定規模の集団の中で、多様な考えに触れ、切磋琢磨する
ことを通じて資質や能力を伸ばす。

(2) 適正規模と適正配置

クラス替えが可能な規模の確保

学校再編の基本コンセプト その2

(3) 地域とともにある学校づくり

スポーツや文化活動の社会教育利用や地域防災拠点と

しての役割の充実

特色ある美浜の教育の推進

- ①英語教育の充実
 - ・小学校1年生から英語の授業
- ②国際交流の充実
 - ・シンガポールとの国際交流活動
- ③小学校高学年の教科担任制
 - ・中学校教諭の専門性を生かす
- ④大学との連携
 - ・質の高い教育の提供
 - ・スポーツ活動（部活動）の充実

小中一貫校にすることで

- ①義務教育 9 年間を見通した教育活動の推進
系統的な教育カリキュラム
- ②義務教育 9 年間継続的な児童生徒との関わり
中 1 ギャップ解消
- ③小中学生の交流（縦割り活動等）
心の育成（優しさ・憧れ）

小中一貫校にすることで

④施設・設備面での充実

特別教室へのエアコン設置 教育機器の充実 など

⑤部活動・行事内容の充実

部活動数の確保 運動会の実施種目 など

でも、数々の課題があります。

○建設場所は？

- ①土地の確保
- ②建設費用等
- ③土地利用法規制解除等の手続きの有無
- ④交通アクセスや安全性 など

11

「学校再編推進委員会」で検討し、
日本福祉大学周辺・町の中央部・人口の多い東部エリアの
複数の候補地から、総合的に判断し、住民説明会を開催

○通学方法は？

- ①建設場所決定後、スクールバス等の利用を含め、児童生徒の安全が第一

○地域とのつながりは？

- ①コミュニティスクール
(学校・家庭・地域が協働で子どもたちの活動を支援)
- ②キャリア教育の充実
(美浜町のよさを体験し、よさを発信)

様々な課題を意見を伺いながら、解決していきたい

昨年度までの取組状況

①令和4年4月

河和南部小学校を河和小学校へ統合

②「学校再編検討委員会」 年2回

③「保護者説明会」9月～10月

5小学校のPTA委員会等で説明

④「夢づくりワークショップ」10月～1月 4回開催

⑤子どもたちへのアンケート（どんな学校がいいか）

河和南部小学校を河和小学校へ統合

①大きな問題なく1年が経過した。

保護者の皆さん・地域の皆さんのご理解とご協力のおかげ

②子ども（卒業文集等より）

- ・最初は河和小・河南小どちらの子どもも不安だった
- ・仲良くなれてよかった

③保護者（学校評価アンケートより）

- ・河南小から来て不安でしたが、今は安心して通えています
- ・不安なく過ごせているのは、先生方やPTAの皆さんのおかげ

学校再編検討委員会 2回開催（8月・3月）

- 検討委員：区長代表、保護者代表、教育委員代表、住民代表、学校代表等
- 開催趣旨：着実に学校再編を進めるための検討を行う
- 8月：令和4年度の予定（保護者説明会等）について
小中一貫校三二勉強会
- 3月：令和4年度の実施状況について
「夢づくりワークショップ」の総括について

○提案・意見等

- ・ 美浜町の将来に係る大事なプロジェクト
- ・ 「こんな学校にしたい」という自由な発想が大事
- ・ 学校が子どもたちにとって、居心地のいい場所になってほしい
- ・ 先生のための職場づくりも大切
- ・ 建設場所が未定なので、ワークショップ等の話し合いが漠然として
いる感がある
- ・ 学校と地域の連携を大事にしたい
- ・ 大学との連携がしっかりとやっていける学校になるといい
- ・ 子どもたちのためという視点を忘れないこと
- ・ 先生のモチベーションがあがる学校になるといい
- ・ 小中一貫校の先進校から学ぶとよい

保護者説明会 9月～10月

○5小学校のPTA委員会等で説明

○感想・意見等

- ・児童生徒数の推移の具体的な数値が示され、学校再編の必要性は理解できた
- ・学校の魅力で、子育てしたい町になってくれるような学校再編であってほしい
- ・建設場所が未定なので、意見も出てこないのではないか
- ・子どもたちの意見を聞いてほしい
- ・説明会やワークショップなど、意見を言える場が多くあるといい

「夢づくりワークショップ」10月～1月 4回開催

- 参加者：地域の代表者、小学校の保護者代表、保育園の保護者代表
- 開催趣旨：意見を基本構想に生かしていきたい
- 4回共通テーマ

「新しく計画される小中一貫校への夢や想いを語ろう！」

- ①「こんな学校に通ってみたい（夢を語ろう）」
- ②「こんな学校に通ってみたい（子どもの視点で考えよう）」
- ③「小中一貫校に残したい学区の文化や物」
- ④「地域にとって学校ってなんだろう」

第1回「こんな学校に通ってみたい（夢を語ろう）」

○意見・感想等

- ・ 給食がおいしい学校（バイキング形式・ランチルーム）
- ・ 地域とつながる学校
- ・ 泊まれる学校
- ・ 自然がある学校
- ・ マイナスイメージの学校再編だったが、意見を出し合っていいイメージを持つことができた
- ・ ぜひ、子どもたちの意見や考え方、望む学校を聞いてほしい

第2回「こんな学校に通ってみたい（子どもの視点で考えよう）」

○意見・感想等

- ・きれいで、明るいトイレがある学校
- ・遊具がたくさんある学校
- ・開放的で広い教室の学校
- ・木が多く使われ温もりを感じる学校
- ・美浜の魅力となる学校になるといい
- ・子どもたちの意見を聞いて、それに対して大人が話し合った方がいいのではないか

第3回「小中一貫校に残したい地区の文化や物」

○意見・感想

- ・ 学校と地区が連携して行っている体験活動等（地域の方が講師）
- ・ 美浜の歴史、偉人に関する授業
- ・ 地元との交流活動
- ・ 地産地消の食育
- ・ 新しい学校に期待するものが、どんどん膨らんでいく感じがした
- ・ 6学区が集まることによって、それぞれの学区の象徴的なものが継承されるとともに、新たな魅力が生まれなくてはならない

第4回「地域にとって学校って何だろう」

- 「学校の中で使ってみたい施設は？」
「どんなことができるといいか？」
- ・音楽室：バンドの練習、お囃子の練習
- ・調理科室：料理教室
- ・図書室：気軽に読書
- ・木工、金工室：親子でD I Y
- ・小さい子が安心して遊べるといい
- ・放課後児童クラブが校内にあるといい

○「どんな学校支援ができますか？」

- ・ 登下校の見守り
- ・ 環境整備（草刈り、樹木の剪定など）
- ・ 部活動指導
- ・ 学習支援
- ・ ICT支援
- ・ 伝統文化の継承
- ・ 読み聞かせ
- ・ 地域の歴史を伝える など

○意見・感想

- ・ 学校再編というと「学校」の課題解決のみが話題になりがちだが、地域の様々な課題を含めて考えることが、特色ある学校づくりに発展する気がする
- ・ 新しい学校をつくることで、これからの美浜町がどのように発展していきたいのかを考えてほしい

子どもたちへのアンケート 2月

○対象：小学校3年生～中学校2年生

○実施趣旨：意見を基本構想に生かしていきたい

○アンケート内容：どんな学校がいいか

「学習環境」「生活環境」「屋外環境」「その他」

「学習環境」：広い教室 特別教室にエアコン 広い図書館

「生活環境」：きれいなトイレ 更衣室は男女とも バイキング給食

「屋外環境」：広い運動場 遊具を多く 温水プール 多くの自然

「その他」：開放感ある学校 バリアフリー 部活の種類を多く

「PTA説明会」「夢づくりワークショップ」等を実施して

- これからも、保護者の方・地域の方・子どもたちの意見等を聞く場を設定
- ワークショップや子どもたちへのアンケート等の意見をできるだけ基本構想に取り入れる
- 小中一貫校になった時の不安を解消する対策の検討

今後の予定

○令和5年度

住民説明会①（学校再編の必要性や取組状況等について）

住民説明会②（小中一貫校の建設場所について）

ワークショップ（参加者：保護者、地域の方など）

小中一貫校整備基本構想策定

○令和6・7年度

基本計画 基本設計 実施設計

○令和8・9年度

建設工事

○令和10年度

小中一貫校開校



**将来の美浜町の子どもたちのために
保護者の方・地域の方と
合意形成を図いながら
オーダーメイドの学校を創りたい。**

